

2015 年度秋学期 授 業 評 価 報 告

科 目 区 分 名	食物科学専攻 科目
-----------	-----------

アンケート結果、今後の改善、その他特記事項（授業方法の工夫等）についての総評

食物科学専攻科目のアンケート結果から、評定平均値を全学の評定平均値と比較すると、授業理解度 3.86（全学 4.16%）、知的好奇心 3.86（全学 4.09%）で少し低かった。教員が、教材や課題を工夫する等によって学生の知的好奇心を刺激し、理解を促すような授業を推進することが望まれる。また、授業時間外の学習時間（時間換算期待値 h/w）が 1.02 で全学 0.70 に対して長いですが、昨年度（1.05）よりも時間が短くなった。今後とも授業時間外の学習に力を注ぐように指導を続けることが必要である。

DWCLA10 選択率に関しては、全学と比較して分析力（48.5%、全学 33.8%）、思考力（63.4%、全学 56.0%）、リーダーシップ（6.1%、全学 3.3%）、変化対応力（12.6%、全学 9.0%）、自己管理力（18.3%、全学 12.2%）が高かった。しかし、創造力は（12.9%、全学 18.7%）、プレゼンテーション力（3.4%、全学 14.8%）、コミュニケーション力（18.7%、全学 21.9%）、自己実現力（6.5%、全学 10.6%）と低かった。今後、科目にもよるが授業方法の工夫等で改善すべき課題であると言える。

上記の枠内に収まる範囲内でご記入ください。